

令和4(2022)年度函館市水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和4年度の給水人口は、前年度に比べ3,780人減少し、242,203人となり、給水普及率（給水区域内人口に対する給水人口の割合）は99.9%となった。

また、水道1日平均給水量は、前年度に比べ24立方メートル減少し、89,260立方メートルとなり、温泉1日供給量は、前年度に比べ37立方メートル増加し、3,426立方メートルとなったほか、年間販売電力量は、前年度に比べ219,652キロワット時増加し、1,492,723キロワット時となった。

事業収益については、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、物価高騰等の影響を受けている市民生活への支援として、家庭用の基本料金を4か月分免除したことにより水道料金が減少したものの、一般会計負担金の増加等により、前年度に比べ35,102,040円の収入増（0.8%増）となり、総額で4,494,025,171円となった。

事業費用については、減価償却費の増加等により、前年度に比べ155,906,398円の支出増（3.7%増）となり、総額で4,419,931,670円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ120,804,358円減少し、74,093,501円の純利益を生じた。

建設改良事業については、赤川高区浄水場等更新整備事業では赤川高区浄水場プラント設備更新整備等事業を、原水及び浄水施設事業では導水管整備事業等を、配水施設事業では配水管整備事業等を、東部地区水道施設事業では尾札部川導水施設整備に係る実施設計業務等を、温泉供給設備事業では温泉供給管の布設替工事等を予定どおり施行した。